

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



伊藤会長と加藤前会長

四日市機械器具工業協同組合 四日会

「四日会」は、四日市機械器具工業協同組合の青年部として昭和43年8月1日に設立されました。

会員企業数は現在23社で、加藤剛前会長は11代目、伊藤恒毅会長は今春から12代目として会長を務めています。

四日市機械器具工業協同組合の会員は、機械器具の製造並びに修理業を行う企業であり、伊藤会長が専務取締役を務める株式会社伊藤鉄工所では、3D CAD/CAM、NC旋盤、高速MC、同時5軸加工機等を使って様々なゴム金型・機械部品の加工を行っています。



勉強会の模様

また、加藤前会長が取締役を務める株式会社加藤機械では、機械装置の設計製作や金属、非金属加工機の組立装置、その他自動化設備、治工具の設計製作、部品製作を行っています。

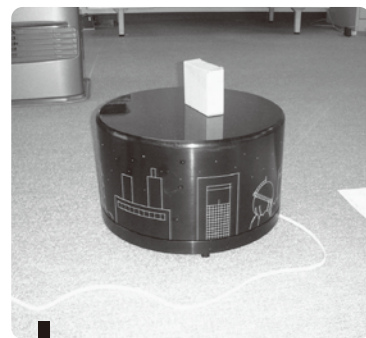
メーカー・加工製作・資材・工具・電機関係などの要望に応えるものづくり集団である「四日市機械器具工業協同組合」の青年部「四日会」は、組合の若手の人達が経営の勉強をしようと、「新しい時代の経営を若き者で研究し、且つ各自の親睦を深めること」を目的に掲げ、隔月1回例会や、年に2～3回勉強会を開催して、経営手法や知識を広げるために勉強するとともに、設立当時から行っている「四日会ゴルフ」を通じて、楽しく親睦を深めています。

また、親組合である四日市機械器具工業協同組合とも、勉強会や新年会等で交流しています。



平成22年には、親組合に所属する組合員企業16社が「株式会社試作サポーター四日市」を立ち上げ、伊藤会長、加藤前会長も積極的に参加し、企業間の連携を図り、各社の持つ技術やノウハウを集結して、構想、設計、加工、組立、設置などを一括対応し、第一弾として地元四日市市の「大入道・三重県指定有形民俗文化財」をモチーフに「メカトロ大入道」を製作しました。また、展示会などで展示品をのせる台として開発した「回転テーブル」は、地元四日市の風景をCADで起こして切削加工し、中に電球を入れて夜景もイメージし、仕上げは鏡面、黒アルマイトとメンバーの持つそれぞれの強みを活かして製作しました。

これらの製作を振り返り、伊藤会長、加藤前会長ともに、「それまで遠い存在であった各企業の重鎮の方々がぐっと身近な存在となり、横だけでなく縦のつながりもできて、有意義であった。」と話されます。



回転テーブル

また、伊藤会長は、「四日会」について、「今後も更に親睦・交流を深め、強いネットワークのもと、活動していきたい。」と話されました。

ものづくりの様子についてはこちらのHPでもご覧いただけます。

試作サポーター四日市

検索

(<https://www.youtube.com/watch?v=WHflpZ7QRNs&feature=youtu.be>)